


ス ラ イ ド 1	<p style="text-align: center;">講義パッケージ3</p> <p style="text-align: center;">共生社会の形成に向けた インクルーシブ教育システム ～合理的配慮・基礎的環境整備編(2)～</p> <p style="text-align: center;">愛媛県総合教育センター 相談支援部 特別支援教育室</p>	<p>◆本日の研修では、合理的配慮と基礎的環境整備の関係や事例について説明します。</p> <p>◆用語の表記について、愛媛県教育委員会では、平成28年4月1日より障害のがいの文字を平仮名表記としておりますが、法令等から引用した場合は漢字表記としていきますので御承知ください。</p> <p>◆時間は20分程度を予定しています。</p> <p>☆講義パッケージ2から引き続いて研修を行う場合は、このシートの読み原稿は省略してください。</p>
ス ラ イ ド 2	<p style="text-align: center;">合理的配慮と基礎的環境整備の関係</p> <p>設置者・学校が実施</p> <p>Aさんのための合理的配慮</p> <p>Bさんのための合理的配慮</p> <p>個別に必要な合理的配慮</p> <p>不特定多数・制度</p> <p>国、都道府県、市町村、学校等による環境整備</p> <p>合理的配慮の基礎となる環境整備 (基礎的環境整備)</p> <p>※「平成26年度 合理的配慮普及推進セミナー」(文部科学省)資料参考に作成</p>	<p>◆最初に、合理的配慮と基礎的環境整備の関係について説明します。</p> <p>◆これは、合理的配慮と基礎的環境整備の関係を表したイメージ図です。</p> <p>◆基礎的環境整備は、合理的配慮を行うためには、欠かせない整備であり、土台となっている関係性がよく分かります。</p> <p>◆合理的配慮と基礎的環境整備には共通している項目があり、混同しやすいのですが、合理的配慮は、「個別に必要なとされる支援」、基礎的環境整備は、「不特定多数に対して行うことや制度」と考えていただくと分かりやすいと思います。</p> <p>◆基礎的環境整備の上に、Aさんに対する合理的配慮、Bさんに対する合理的配慮・・・というように個別に考えていくということになります。</p> <p>◆したがって、合理的配慮を検討する際には、基礎的環境整備の状況を整理することが必要です。また、各学校において基礎的環境整備を充実させることも重要となります。</p> <p>＜補足説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通している項目は、専門性のある指導体制の整備と施設・整備に関することである。

ス ラ イ ド 3	<p>「基礎的環境整備」</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ネットワークの形成・連続性のある多様な学びの場の活用 (2) 専門性のある指導体制の確保 (3) 個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導 (4) 教材の確保 (5) 施設・設備の整備 (6) 専門性のある教員、支援員等の人的配置 (7) 個に応じた指導や学びの場の設定等による特別な指導 (8) 交流及び共同学習の推進 <p>※「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」より</p>	<p>◆その基礎的環境整備の8項目の内容はスライドに示す通りです。</p>
ス ラ イ ド 4	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の関係</p> 	<p>◆基礎的環境整備と合理的配慮の関係について別の図を使って説明します。</p> <p>◆この図を見ていただくと分かるように、基礎的環境整備が充実している場合には、合理的配慮は相対的に少なく、その反対に、基礎的環境整備が充実していない場合には合理的配慮は相対的に多くなるという関係があります。</p> <p>◆そのため、合理的配慮を検討する際には、基礎的環境整備についても確認したり検討したりすることも大切です。</p>
ス ラ イ ド 5	<p>基礎的環境整備について</p> <p>「基礎的環境整備」を進めるに当たっては、ユニバーサルデザイン(※5)の考え方も考慮しつつ進めていくことが重要である。</p> <p>(※5)バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア(障壁)に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず様々な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。</p> <p>※「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」より</p>	<p>◆基礎的環境整備を進めるに当たっては、ユニバーサルデザインの考え方も考慮しつつ進めていくことが重要であることも示されています。</p> <p>◆各学級及び学校全体の児童及び生徒にとって、学びやすくなるように教室環境を整えたり、分かりやすい授業となるよう工夫したり、安心できる学級経営をしていくことも大切です。</p>
ス ラ イ ド 6	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例①</p> <p>事例1</p> <p>通常の学級に在籍し、週に一度、通級による指導を受けている注意欠陥多動性障害と診断されているB市立C小学校4年生のA児</p> <p>国立特別支援教育総合研究所『合理的配慮』実践事例データベースより</p>	<p>◆ここで、合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例を紹介したいと思います。</p> <p>◆事例1は、通常の学級に在籍し、週に一度、通級による指導を受けている注意欠陥多動性障害と診断されているB市立C小学校4年生のA児の事例です。</p> <p>☆実践事例の紹介については、2事例を研修で紹介してもかまいませんし、学校の実情に合わせて、1事例のみを紹介することも可能です。</p>

ス ラ イ ド 7	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例①</p> <p>自分の理想と現実がうまくかみ合わず、納得のいくように物事が進まないときは、イライラする様子を見せることがある。</p> <p>学習面では、興味のないことは、最初から取り組もうとしない。学校で楽しみなことがないと、眠ってしまうことも多い。予定変更が苦手で、事前の見通しをもたせることがとても重要である。</p> <p>字を書くことは苦手だが、うまく気持ちをのせると、書道に取り組むことができる。</p>	<p>◆自分の理想と現実がうまくかみ合わず、納得のいくように物事が進まないときは、イライラする様子を見せることがあります。</p> <p>◆学習面では、興味のないことは、最初から取り組もうとしません。</p> <p>◆学校で楽しみなことがないと、眠ってしまうことも多いです。</p> <p>◆予定変更が苦手で、事前の見通しをもたせることがとても重要です。</p> <p>◆字を書くことは苦手ですが、うまく気持ちをのせると、書道に取り組むことができます。</p> <p>◆A児において、基礎的環境整備と合理的配慮は大切となります。</p>
ス ラ イ ド 8	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例①</p> <p>基礎的環境整備の一例</p> <p>(3) 個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導</p> <p>障害のある児童に意図的・計画的に支援を進めるために、個別の指導計画や個別の教育支援計画に基づく指導を推進している。</p> <p>A児の個別の指導計画については、通常の学級及び通級指導教室において作成している。個別の指導計画は、年度当初に保護者を含めた支援会議で作成し、10月頃に計画の評価・見直しを実施した。</p>	<p>◆基礎的環境整備の一例を紹介します。</p> <p>◆(3)個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導については、障害のある児童に意図的・計画的に支援を進めるために、個別の指導計画や個別の教育支援計画に基づく指導を推進しています。</p> <p>◆A児の個別の指導計画については、通常の学級及び通級指導教室において作成しています。個別の指導計画は、年度当初に保護者を含めた支援会議で作成し、10月頃に計画の評価・見直しを実施しました。</p>
ス ラ イ ド 9	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例①</p> <p>基礎的環境整備の一例</p> <p>(4) 教材の確保</p> <p>教材の工夫に加えて、学習過程が構造化されていた方が分かりやすい児童が多いことから、指導の流れを課題の把握、予想・見通し、解決・追究、検討・考察、まとめの5段階に整理し、全学年で取り組んでいる。学習過程を黒板にカードで提示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。</p>	<p>◆(4)教材の確保については、教材の工夫に加えて、学習過程が構造化されていた方が分かりやすい児童が多いことから、指導の流れを課題の把握、予想・見通し、解決・追究、検討・考察、まとめの5段階に整理し、全学年で取り組んでいます。学習過程を黒板にカードで提示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるように工夫しています。</p>

ス ラ イ ド 10	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例①</p> <p>合理的配慮の一例</p> <p>①－１－２ 学習内容の変更・調整</p> <p>国語では、大きくプリントした詩など短文をなぞり書きしている。なぞることであれば、失敗につながらないため気分が乗りやすく取り組むことができる。算数では、単純な計算は習得できているため、A4用紙に一間ずつプリントされた計算問題をいくつか用意し、A児の様子を見ながら量の加減をしている。</p> <p>通級指導教室では、学年を特定せずに、簡単な漢字や計算問題を通して文字を書いて基礎学力の定着を目指している。</p>	<p>◆次に、合理的配慮の一例を紹介します。</p> <p>◆①－１－２ 学習内容の変更・調整については、国語や算数などの一斉授業等、A児が興味をもてない授業等は、A児にとって苦痛であるためなかなか参加できない状況でした。そこで、国語では、大きくプリントした詩など短文をなぞり書きしています。なぞることであれば、失敗につながらないため気分が乗りやすく取り組むことができます。算数では、単純な計算は習得できているため、A4用紙に一間ずつプリントされた計算問題をいくつか用意し、A児の様子を見ながら量の加減をしています。</p> <p>◆通級指導教室では、学年を特定せずに、簡単な漢字や計算問題を通して文字を書いて基礎学力の定着を目指しています。</p>
ス ラ イ ド 11	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例①</p> <p>合理的配慮の一例</p> <p>②－３ 災害時等の支援体制の整備</p> <p>A児の様子によっては、クラス全体を学級担任一人で移動させることが難しい場合が想定されるため、A児が支援員とともに避難する体制をとっている。</p> <p>③－２ 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮</p> <p>教室で自分の思い通りにいかないことがあり、イライラしてしまったときは、保健室に来てベッドに横になり、養護教諭に話を聞いてもらうなどして、気持ちを落ち着かせている。保健室以外では、教育相談室で活動することもある。</p>	<p>◆②－３ 災害時等の支援体制の整備については、A児の様子によっては、クラス全体を学級担任一人で移動させることが難しい場合が想定されるため、A児が支援員とともに避難する体制をとっています。</p> <p>◆③－２ 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮については、A児にとって、保健室は一番安心できる場所です。そのため、教室で自分の思い通りにいかないことがあり、イライラしてしまったときは、保健室に来てベッドに横になり、養護教諭に話を聞いてもらうなどして、気持ちを落ち着かせています。保健室以外では、教育相談室で活動することもあります。</p>
ス ラ イ ド 12	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例②</p> <p>事例 2</p> <p>進行性筋ジストロフィーで、生活全般において介助が必要なE市立F高等学校普通科1年生のD生徒</p> <p>国立特別支援教育総合研究所『合理的配慮』実践事例データベースより</p>	<p>◆事例2は、進行性筋ジストロフィーで、生活全般において介助が必要なE市立F高等学校普通科1年生のD生徒の事例です。</p>

ス ラ イ ド 13	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例②</p> <p>全教科とも通常の教育課程で学習している。学習内容の理解は良好である。</p> <p>現在、移動については、電動車椅子を使用している。書字は、自分でペンを持ち、前腕を机に乗せ、指先だけ動かして書いている。ペンの持ち替え等は、支援員が介助している。</p> <p>食事は、家から持参したペースト状の食べ物を全介助にて摂取している。排せつは、同性の教職員と支援員の2名で介助している。体温調節が難しいため、配慮が必要である。</p> <p>進路については、大学進学を希望しており、その目標に向かって学習している。</p>	<p>◆全教科とも通常の教育課程で学習しています。学習内容の理解は良好です。</p> <p>◆現在、移動については、電動車椅子を使用しています。書字は、自分でペンを持ち、前腕を机に乗せ、指先だけ動かして書いています。ペンの持ち替え等は、支援員が介助しています。</p> <p>◆食事は、家から持参したペースト状の食べ物を全介助にて摂取しています。排せつは、休み時間ごとに必要性の有無を聞き、同性の教職員と支援員の2名で介助しています。</p> <p>◆体温調節が難しいため、配慮が必要です。</p> <p>◆進路については、大学進学を希望しており、その目標に向かって学習しています。</p> <p>◆D生徒においても、基礎的環境整備と合理的配慮は大切となります。</p>
ス ラ イ ド 14	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例②</p> <p>基礎的環境整備の一例</p> <p>(1) ネットワークの形成・連続性のある多様な学びの場の活用</p> <p>E市の中学校と高等学校の間では、中高連絡会において、中学校から高等学校へ進学した生徒についての引継ぎが行われている。</p> <p>D生徒についても、学校生活全般における介助方法、本人用の机の使用等、D生徒が在籍していたG中学校で行った具体的な支援について引継ぎを行った。また、入学後も数回にわたり、G中学校の特別支援学級担任がF高等学校を訪れ、介助方法等を実際に伝えた。</p>	<p>◆基礎的環境整備の一例を紹介します。</p> <p>◆(1)ネットワークの形成・連続性のある多様な学びの場の活用については、E市の中学校と高等学校の間では、中高連絡会において、中学校から高等学校へ進学した生徒についての引継ぎが行われています。</p> <p>◆D生徒についても、学校生活全般における介助方法、本人用の机の使用等、D生徒が在籍していたG中学校で行った具体的な支援について引継ぎを行いました。また、入学後も数回にわたり、G中学校の特別支援学級担任がF高等学校を訪れ、介助方法等を実際に伝えました。</p>

ス ラ イ ド 15	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例②</p> <p>基礎的環境整備の一例</p> <p>(5) 施設・設備の整備</p> <p>E市では、全小・中・高等学校にエレベーター、車椅子用トイレ（多目的トイレ）を設置している。</p> <p>F高等学校には、エレベーターが1基、車椅子用トイレ（多目的トイレ）は8箇所に設置されている。</p> <p>(6) 専門性のある教員、支援員等の人的配置</p> <p>E市では、支援員を配置している。</p> <p>F高等学校には、現在、2名の支援員が配置されている。</p>	<p>◆(5)施設・設備の整備については、E市では、全小・中・高等学校にエレベーター、車椅子用トイレ（多目的トイレ）を設置しています。</p> <p>◆F高等学校には、エレベーターが1基、車椅子用トイレ（多目的トイレ）は8箇所に設置されています。</p> <p>◆(6)専門性のある教員、支援員等の人的配置については、E市では、通常の学級に在籍している児童生徒に対し、学級担任、教科担任の指導の下、一人一人の教育的ニーズに応じた必要な支援を行うために支援員を配置しています。</p> <p>◆F高等学校には、現在2名の支援員が配置されています。</p>
ス ラ イ ド 16	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例②</p> <p>合理的配慮の一例</p> <p>①－1－1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <p>D生徒が、教室で学習する際は、電動車椅子に専用のカットアウトテーブルを装着している。</p> <p>入学当初は、支援員がD生徒の後ろに座り、必要に応じて介助していたが、筋力の低下により、後ろを振り向くことができず、D生徒の声が小さく聞こえないことがあったため、斜め前に座り、D生徒の要望にすぐ応じることができるようにした。</p> <p>教科学習においては、ペンの持ち替えや姿勢の調整等が難しいため、常に支援員がそばにいて必要に応じて介助している。</p>	<p>◆次に、合理的配慮の一例を紹介します。</p> <p>◆①－1－1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮については、D生徒が、教室で学習する際は、電動車椅子に専用のカットアウトテーブルを装着しています。</p> <p>◆入学当初は、支援員がD生徒の後ろに座り、必要に応じて介助していましたが、筋力の低下により、後ろを振り向くことができず、D生徒の声が小さく聞こえないことがあったため、斜め前に座り、D生徒の要望にすぐ応じることができるようになりました。</p> <p>◆教科学習においては、ペンの持ち替えや姿勢の調整等が難しいため、常に支援員がそばにいて必要に応じて介助しています。</p>
ス ラ イ ド 17	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例②</p> <p>合理的配慮の一例</p> <p>②－1 専門性のある指導体制の整備</p> <p>F高等学校では、E市が行っている巡回相談を活用し、D生徒の介助方法について指導・助言を受けている。</p> <p>また、学級担任、支援員、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、学年主任などの職員が、D生徒の主治医であるI医大を訪問し、担当医師からD生徒の身体的な状況、体の動かし方、食べ物の嚥下の状況などを聞いたり、リハビリの様子を参観したりして、学校での支援・介助の参考にしている。</p>	<p>◆②－1 専門性のある指導体制の整備については、F高等学校では、E市が行っている巡回相談を活用し、D生徒の介助方法について指導・助言を受けています。</p> <p>◆また、学級担任、支援員、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、学年主任などの職員が、D生徒の主治医であるI医大を訪問し、担当医師からD生徒の身体的な状況、体の動かし方、食べ物の嚥下の状況などを聞いたり、リハビリの様子を参観したりして、学校での支援・介助の参考にしています。</p>

ス ラ イ ド 18	<p>合理的配慮と基礎的環境整備の実践事例②</p> <p>合理的配慮の一例</p> <p>③－２ 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮</p> <p>多目的トイレはＤ生徒に特化したものではないが、Ｄ生徒は体温調節が難しいので、血管を温めるために、多目的トイレでドライヤーを使用している。</p>	<p>◆③－２ 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮については、多目的トイレはＤ生徒に特化したものではないですが、Ｄ生徒は体温調節が難しいので、血管を温めるために多目的トイレでドライヤーを使用しています。</p> <p>◆２事例について、基礎的環境整備や合理的配慮の一部分を紹介しましたが、その他の基礎的環境整備の項目及び合理的配慮の観点項目についても検討し、必要な事項について実施しています。</p> <p>◆また、今回２事例を紹介しましたが、地域・学校における基礎的環境整備は様々です。そして、この事例と類似した事案であったとしても、合理的配慮の提供については、各学校で個別に判断することが大切です。</p> <p>◆以上で本日の研修は終わります。</p>
------------------------	---	---